

重要！

フィルターは定期的に洗浄する
必要があります。



フィルターは、1年毎を目安に冷水で洗浄してください。



☎ 0120-295-731

月～金、土、日曜および祝日* 9:00AM～6:00PM

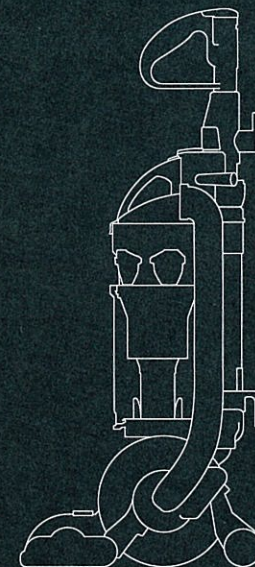
*年末年始、その他都合によりお休みさせていただくことがありますので、予めご了承ください。

dyson ball

DC
24

取扱説明書

使用上の重要な情報が書かれています。ご使用前に必ずよく読み、保管してください。ご相談やお問い合わせは、ダイソンお客様相談室（0120-295-731）にお電話をいただくか、ダイソン社ホームページ（www.dyson.co.jp）をご利用ください。



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐために

掃除機を使用する前に説明書をよくお読みください。

電気製品を使用する場合は、以下の警告および基本的な注意事項を必ず守ってください。

安全上の警告・注意

火災、感電またはけがを防止するために以下を必ず守ってください。

- 1 屋外または濡れた表面上で使用したり、水などの液体を吸い込まないようにしてください。感電またはけがのもとになります。
- 2 濡れた手で差し込み部分または器具を触らないでください。
- 3 電源コードや電源プラグが破損した状態で掃除機を使用しないでください。使用中に破損を見つけた時は、直ちに掃除機をオフにし、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードや電源プラグの破損については、感電またはけがの恐れがあるため、必ずダイソンお客様相談室にご連絡いただき、ダイソン株式会社で修理交換しなければいけません。
- 4 掃除機がうまく機能しない場合、または落ちたり、破損したり、屋外に放置したり、液体に浸かった場合は、ダイソンお客様相談室にご連絡ください。
- 5 部品に不具合があったり、なくなっている場合、破損している場合は掃除機を使用せず、ダイソンお客様相談室にご連絡ください。
- 6 掃除機を運んでいる間は、サイクロンの取り外しボタンを押さないでください。サイクロンが外れて本体が落下し、けがをする恐れがあります。また、持ち上げる前、サイクロンが本体にしっかり固定されていることを確認してください。本体を揺すらないでください。
- 7 子供のいるところで使用する場合は、十分注意してください。子供のいる環境、子供の近くに製品を放置することはやめてください。掃除機が動いている時も動いていない時も、子供に掃除機を触らせることはやめてください。特に吸い込み口部分は高速回転のブラシもついていることから、けがの恐れがあります。
- 8 本製品を正しく使用できない恐れのある人（幼児、子供含む）が単独で使うことは絶対におやめください。ご使用の際には安全に使用できる環境かつ監督のもとで使用するようにしてください。
- 9 子供に玩具として使用させないでください。異物を取り除くことを含む製品のメンテナンス作業を子供にさせることは絶対にやめてください。
- 10 電源コードをコンセントに差し込んだままにしないでください。使用しない場合やお手入れの前、ホースやツールの着脱時は必ずコンセントから電源コードを外してください。
- 11 本体が加熱すると、モーターが自発的に停止することがあります。電源プラグを抜き、本体が冷えるのを待った後、フィルターの状態の確認や異物を取り除いてください。
- 12 掃除機は屋内に保管してください。ご使用後は、足を引っかけないように、電源コードを安全に巻き戻して保管してください。
- 13 電源コードをコンセントから抜く前に、必ずすべての電源を切ってください。
- 14 電源コードを引っ張らないでください。必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 15 電源コードを引っかけたり、別の用途で使用しないでください。電源コードをドアに挟む、鋭い縁や角にそって電源コードを引っ張るなどダメージを与えることはやめてください。加熱した表面や熱源、火気に電源コードを近づけないでください。
- 16 延長コードを使用しての本製品の使用はお薦めしません。
- 17 髪の毛、衣類、指などが掃除機の開口部やブラシバーなどの可動部品に近づかないように十分注意してください。けがの恐れがあります。
- 18 掃除機の開口部に物を挿入しないでください。開口部を塞いで掃除機を使用しないでください。気流を妨害するようなゴミ、糸くず、髪の毛などは取り除いてください。
- 19 階段を掃除する場合は特に注意が必要です。掃除機は階段の下に置いて作業してください。掃除機は床の上に置いてください。椅子、テーブルなどの上には置かないでください。
- 20 タバコ、マッチ、熱い灰など、火のついていものや煙の出ているものは吸い込まないでください。
- 21 ガソリンなどの引火性または可燃性の液体を吸い込んだり、そのような液体の近くで掃除機をかけないでください。
- 22 本体底面の製品ラベルに記載されている電源と同じ電源を必ず使用してください。掃除機の電源は定格どおりでなければなりません。
- 23 取扱説明書の指示どおりに使用してください。付属品、部品、交換部品はダイソンが指定するものを使用してください。
- 24 サイクロン・クリアビン、フィルターなどの部品を所定の位置に取り付けてから掃除機を使用してください。
- 25 この説明書で指示された以外、またはダイソンのお客様相談室の指示による以外の方法で、修理整備は行わないでください。

注意

- 本製品のホースは、電気系の配線、接続部分を含みます。感電またはけがのもとになりますので、水やその他の液体を吸い込まないようにしてください。また、本製品を水や液体に浸したり、本製品に水や液体をかけたりしないでください。また、ホースを定期的に点検し、破損等がある状態でのご使用は絶対にやめてください。
- 鋭い縁や角のある固い物体、小型の玩具、ピン、ペーパークリップなどは掃除機を傷付ける場合がありますので、吸い込まないように注意してください。
- カーベットのタイプによっては、フロアツールとカーベットの摩擦により、クリアビンや伸縮式パイプにわずかな静電気が発生する場合がありますが、これは電源部分からの電気ではありません。このような影響を最小化するため、掃除中および掃除直後にクリアビンに触ったり、クリアビン内にホコリ以外の異物を入れるなどすることはおやめください。クリアビンに溜まったホコリは、ある程度溜まると回転しなくなりますが、性能には支障はありません。



電源コードを引っ張らないでください。必ず電源プラグを持って抜いてください。



熱源に近づけないでください（収納時含む）。



火気に近づけないでください（収納時含む）。



電源コードを吸い込まないでください。



水などの液体を吸い取らないでください。風呂場などでの使用もおやめください。



灰やトナーなどを含め火の気のあるものを吸い取らないでください。



階段で自分より段上に置いて使用しないでください。

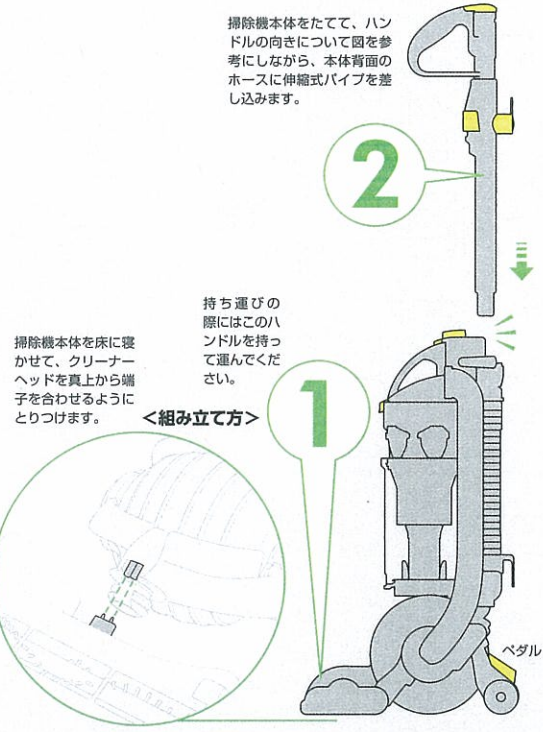


掃除機の作動中は、吸い込み口に手や足を近づけないでください。

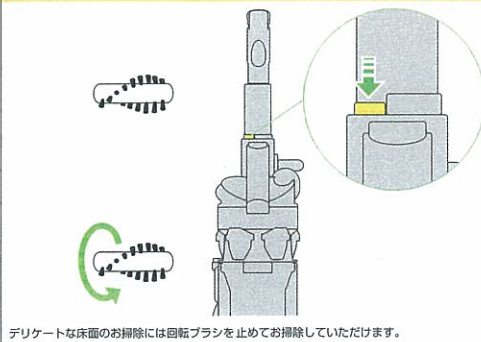
掃除機の使用



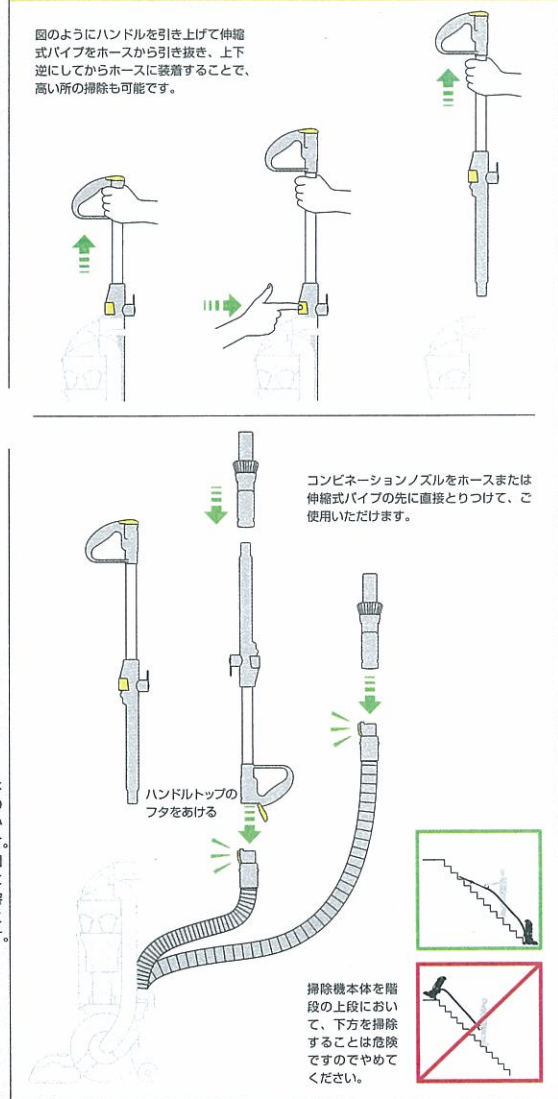
ゴミの捨て方 — ゴミ捨ての際には、必ず電源をオフにし、プラグをはずした状態で行います。



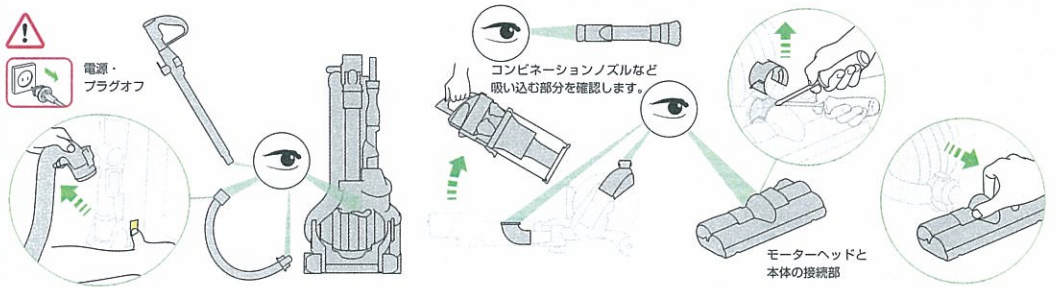
回転ブラシ オン/オフ



高い所を掃除する場合



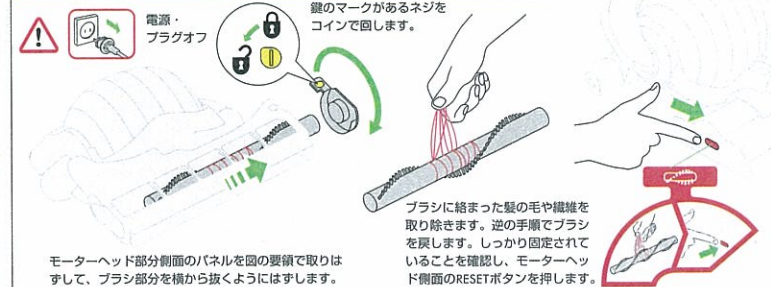
掃除機に何かが詰まったら — 電源をオフにし、プラグをはずします。本体が冷えた後、掃除機の使用方のページにある、「異物の取り除き方」を参考に、異物を取り除きます。



警告 — けがの恐れあり



回転ブラシに異物が絡まったら — モーターヘッドのブラシのお手入れは必ずプラグをはずした状態で行ってください。



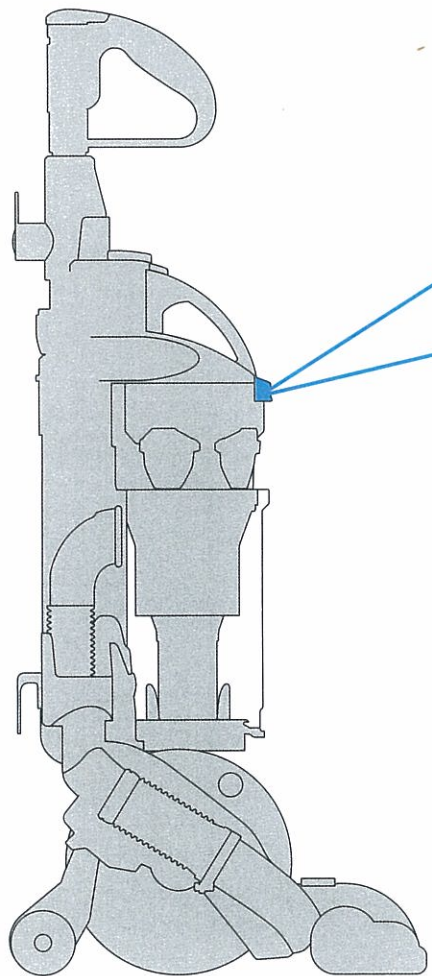
重要！

フィルターは定期的に洗浄する必要があります。

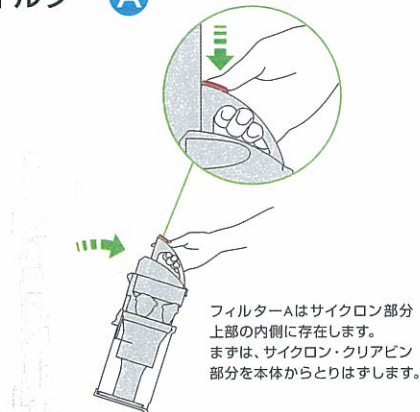


年每

フィルターは、1年毎を目安に冷水で洗浄してください。



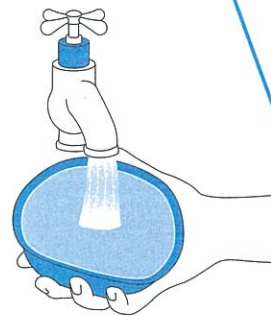
フィルター



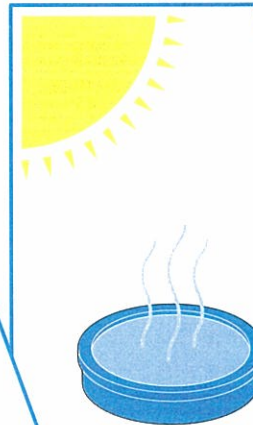
フィルターAはサイクロン部分上部の内側に存在します。
まずは、サイクロン・クリアビン部分を本体からとりはずします。



ハンドル下にあるツメを押し上げてサイクロン上部を開けます。そして、フィルターAをとり出します。



水道水（お湯、洗剤使用禁止）ですすぎ洗い、
手でしっかり水気をしぼります。



完全に乾燥させます（しっかり水気をきったフィルターを最低24時間は風通しのよいところで放置して乾燥）。



完全に乾燥したフィルターAをサイクロ
ントップに戻します。
必ず元の場所に戻してご使用ください。



掃除機の使用方式

組み立て方

掃除機本体を床に対して水平に寝かせ、クリーナーヘッドを真上からとりつけます。この際、カチッと音がするのを確認してください。掃除機本体をたてて、ハンドルの向きについて図を参考にしながら、本体背面のホースに伸縮式パイプを差し込みます。ホース上部は固定されている必要はありません。

掃除機の使用

- ハンドルを上に取り上げます。
- 掃除機背面に立って、背面下側のペダルを踏みながら、ハンドル部分を手前に倒します。ペダルが完全に上がりきったことを確認してください。
- 本体前側の電源（オン/オフ）ボタンを押して、運転を開始します。
- 掃除を終了する際には電源（オン/オフ）ボタンを押して、運転を停止します。本体を床に対して垂直にたてるとペダル部分が自動的に下に下がり、掃除機本体を支えます。
- 行きたい方向に手首を返すことで、容易に方向をかわることができます。
- 伸縮式パイプを縮める時は、伸縮式パイプ根元の赤い部分を押しさながらハンドルを軽く押し上げます。力を入れ過ぎると急に縮み、けがをする恐れがあります。
- 持ち運びの際には、伸縮式パイプのハンドルではなく、サイクロントップのハンドルを持って運びます。

注意

- 1 掃除機本体を垂直にたてる際には、ペダルが掃除機本体を支えて、手を離して大丈夫かどうかを確認してから、手を離してください。
- 2 掃除機を運んでいる間は、サイクロントップのハンドル上部にあるボタンを押さないでください。サイクロンが外れて本体が落下し、けがをする恐れがあります。また、持ち上げる前に、サイクロンが本体にしっかり固定されていることを確認してください。

また、以下の点にもご注意ください。

- 1 石膏の粉じんまたは小麦粉などの細かい粉じんを吸い込む場合は、ごく少量ずつ吸引するようにご注意ください。大量に吸い込むと強い静電気が発生することがあります。
- また、故障の原因となりうる除湿剤、多量の粉体、ホースに詰まりやすいもの、水や液体、湿ったゴミ、ガラス、針、ペットの排泄物が付着したものは吸わせないでください。
- 2 掃除機をかける際の回転ブラシの使用に関して、フローリング、敷物、カーペット等のメーカーに仕様を問い合わせるなどして、回転ブラシの使用が適しているかを確認し、メーカーの指示に従ってください。カーペットによっては掃除機をかけるときに回転ブラシバーを使用すると毛羽立つこともあります。そのような場合は、回転ブラシ オフでご使用されることをお勧めします。
- 3 掃除機を屋外または湿った表面上で使用しないでください。
- 掃除機を車庫や玄関のような屋外に近いところで使用する場合、ダイソン社の付属品やアクセサリを吸い込み口としてご使用ください。使用後は、掃除機の裏面と車輪や吸い込み口などを乾いた布で拭いて、家の中の床を傷つけないように、砂、塵、小石を落としてください。

回転ブラシ オン/オフ

- 掃除機開始時に、ハンドルを持って本体を手前に倒し、電源ボタンを押して運転開始すると必ず回転ブラシが回転します。畳やハードフロアのお掃除には回転ブラシを止めて、カーペットのお掃除にはブラシを回転させてお掃除することをお勧めしますが、適したお掃除方法をご判断の上、回転ブラシ オン/オフを効果的にご使用ください。
- 例えば、デリケートなハードフロアの床面の掃除の際に回転ブラシをオフにする場合、ハンドルを持って掃除機を手前に倒してから電源ボタンを押して運転を開始し、それから回転ブラシ オン/オフスイッチでブラシの回転を止めます。
- 回転ブラシに異物が絡まったら、自動的に回転が停止します。もし、使用中にブラシの回転が止まった場合は、「モーターヘッドのお手入れ」の項目を参考にして、異物を取り除いてください。

高い所を掃除する場合

注意

- 1 吸引力が強いので、ホースが勢いよく動く可能性があります。伸縮式パイプまたはハンドルをしっかり握ってください。ホースを引っ張ることで本体を移動させることはやめてください。掃除をする箇所の極力近くに本体を置いて本体が倒れないよう十分注意して掃除を行ってください。
 - 2 掃除機本体を階段の上段において、下方を掃除することは危険ですのでやめてください。けがおよび故障の原因となります。
- 本製品は高い所もお掃除できるよう、デザインされています。ハンドルを引き上げて伸縮式パイプをホースから引き抜き、上下逆にしてからホースに装着します。
- コンビネーションノズルをホースまたは伸縮式パイプの先に直接とりつけて、ご使用いただけます。

ゴミの捨て方

注意

ゴミ捨ての際には、必ず電源をオフにし、プラグを外した状態で行います。

- 1 クリアビンのゴミがMAXのラインまで溜まる前に必ずゴミを捨ててください。MAXラインを超さないように注意してください。
- サイクロントップのハンドル上部にあるボタンを押さえて、サイクロン・クリアビン部分を本体からとり外します。
- 同じボタンをもう一度垂直方向に押すと、クリアビンの底が開いて、ゴミを捨てられます。この際、大きめのゴミ袋の中でゴミ捨てを行うことで、ホコリの粉じんの拡散を防止します。
- 2 ゴミ捨て後、クリアビンの底がしっかり閉まっていることを確認し、サイクロン・クリアビン部分を所定の位置に戻してから掃除機を使用してください。

クリアビンのお手入れ

注意

- ダイソンの網目状シールド・サイクロン部分は洗浄する必要はありません。水洗いをするなど故障の原因となりますので、絶対におやめください。汚れが気になる場合は、乾いた布またはブラシで糸くずやホコリを取り除く程度にしてください。サイクロン内部に多少のホコリが残っていても吸引性能に支障はありません。
- クリアビン（透明のビン）のお手入れは任意です。必ずしもお手入れしなければならぬものではありません。また、洗浄する際には水道水（冷水）で軽く流す程度にしてください。お湯や洗剤、磨き粉などは使用しないでください。砂、タニ取り剤、研磨剤などを吸すると、クリアビンの透明感が失われることがあります。

クリアビンは底面が吸いている状態にしてからのみ、サイクロン部分から取り外すことができます。

クリアビンは、完全に乾かしてから、本体に戻してください。

- カーペットのタイプによっては、フロアツールとカーペットの摩擦により、クリアビンや伸縮式パイプにわずかな静電気が発生する場合がありますが、これは電源部分からの電気ではありません。このような影響を最小化するため、掃除中および掃除直後にクリアビンに触ったり、クリアビン内にホコリ以外の異物を入れるなどすることはおやめください。
- クリアビンに溜まったホコリは、ある程度溜まると回転はなくなりますが、性能には支障はありません。

フィルターのお手入れ

注意

- 1 フィルターのお手入れのためにフィルターを本体から取り外す際には、必ず掃除機の運転を停止し、プラグを外した状態で行ってください。
- 2 フィルターは、完全に乾かしてから、本体に戻してください。
- 掃除機の性能をよりよく保つために少なくとも1年に一度を目安に、フィルターを定期的に洗浄する必要があります。
- 汚れの程度によっては、1年より短い期間でも洗浄してください。
- 洗浄方法は、フィルター洗浄について説明された見開き図を参考にしてください。
- 特にボール部分にあるフィルターについては、水道水ですすぎを繰り返し、すすぎ水がきれいになるまで約10回程度はすすぎと水気を切ることを繰り返してください。
- フィルターは完全に乾燥させてから（しっかりと水気を切ったフィルターを最低24時間は風通しのよいところで放置して乾燥）、本体に戻してください。フィルターをセットせずに掃除機を使用することは絶対にやめてください。

また、以下の点にもご注意ください。

- フィルターは汚れの度合いに応じて、汚れの色が濃くなってきます。定期的にフィルターの汚れ状況を確認し、汚れの程度によっては1年より短い期間で洗浄してください。
- フィルターを洗浄する際にも、お湯、洗剤を使用しないでください。
- フィルターを洗浄及び乾燥する際に、食器洗浄機や洗濯機、洗濯乾燥機、オーブン、電子レンジ、ドライヤー等を使用しないでください。また火気の近くに置くこともやめてください。

異物の取り除き方

注意

- 1 詰まりを点検する前には、必ず電源を切って、電源コードをコンセントから外してください。感電またはけがをする恐れがあります。
- 2 掃除機を点検する際には、掃除機がしっかりと直立して不安定ではないかどうかを確認してから点検を行ってください。
- 3 異物を取り除く場合は、尖った物体が挟まっている恐れがあるので、十分に気を付けてください。
- ホースを含む、電気経路のパーツを外す場合は、掃除機を垂直にたててはすしてください。
- 4 使用する前に、部品や付属品がすべて所定の位置にしっかりと収まっていることを確認してください。
- 詰まったものを取り除くのは保証対象外です。異物が詰まり、モーターの温度が一定以上上昇した場合は、掃除機が自動的に停止します。掃除機の電源コードをコンセントから外して、温度が下がるのを待ちます。次に続く方法と見開き図内「モーターヘッドのお手入れ」を参考に、異物を取り除いてから掃除機をご使用ください。
- 吸い込み口、伸縮式パイプ/ホース、掃除機本体に分解します。
- それぞれの接続部分に空気の流れを妨げるような異物がないかを確認し、見つけた場合は取り除きます。掃除機本体側とホースとの接続部分も確認し、見つけた場合は取り除きます。
- または、サイクロン・クリアビン部分を掃除機本体から取り外し、それぞれの接続部分に異物がないかを確認し、見つけた場合は取り除きます。

モーターヘッドのお手入れ

注意

- モーターヘッドのブラシのお手入れは必ずプラグを外した状態で行ってください。回転ブラシに異物が絡まったら、自動的に回転が停止します。もし、使用中にブラシの回転が止まった場合は、次の方法で絡まった異物を取り除いてください。
- 鍵のマークがあるネジをコインで回し、ブラシ部分を取り外して、絡まったものを取り除きます。
 - お手入れ後は、ブラシを元に戻し、再度ネジをコインで回して固定してください。しっかりと固定されていることを確認し、モーターヘッド側面のRESETボタンを押します。

注意

モーターヘッド底面の赤い小車輪は、床面に押さえられた状態でブラシを回転させ、床面から離れるとブラシの回転を止める仕組みですが、床面から離れていても小車輪を押さえるとブラシが高速回転します。ブラシの高速回転時に指や衣服などが絡まるとけがの恐れがありますので、十分ご注意ください。

製品仕様

最大消費電力：650W、電源：100V 50-60Hz、重量（ホース、伸縮式パイプ、クリーナーヘッド含む）5.3kg

この製品は、以下の知的所有権により保護されています。

特許/特許出願番号：JP 2004-537336; EP 1361812; AU 744408; EP1119282; JP 2002-527132;
US 6,519,807; AU 744362; EP 1121043; JP 2002-527131; US 6,572,078; GB 0326102.1; AU 2002-226556;
EP 1370172; JP 2004-528876; US 6,991,666; AU 2002-225207; EP 1361814; JP 2004-520137; US 7,018,439;
AU 2001-240894; EP 1268076; JP 2003-528704; US 6,835,222; AU 2002-225232; EP 1361815;
JP 3940082; US 6,974,488; AU 2003-283157; EP 1526796; JP 2006-503607; US 2005-0235454;
AU 2003-283159; EP 1526797; JP 2005-534442; AU 2003-283161; EP 1526798; JP 2006-503608;
AU 2004-294771; EP 1680232; JP 2007-508934; US 2007-0079579; AU 2005-263889; EP 1768536

その他各国で、同等の特許、登録意匠を取得および出願中です。

製品の改善等を理由に、ここに掲載した図、情報の詳細が予告なく変更される場合があります。